

フェアトレードと小農の自立： 南アのルイボス茶から考える

池上 甲一
近畿大学名誉教授
国際農村社会学会会長

ikegami@nara.kindai.ac.jp

1

1. 発表の目的
2. ルイボス茶の生産と Heiveld Coop
3. フェアトレードによる多様なインパクト：
小農の自立に焦点をあてて
4. Heiveld Coopの例から学べること
5. フェアトレードの仕組みと現状
6. 結論：フェアトレードの展望

ikegami@nara.kindai.ac.jp

2

発表の目的

1. 南アのルイボス茶のフェアトレード
Heiveld Coopの事例から学べること
小農の自立とは
フェアトレードからの「卒業」？
女性(特に高齢)の役割
2. このような例を広げるには何が必要か
フェアトレードの仕組み、課題を踏まえて
⇒フェアトレードの展望に結びつける

ikegami@nara.kindai.ac.jp

3

ルイボス茶の生産と Heiveld Coop

ikegami@nara.kindai.ac.jp

4

ルイボス (*Aspalathus linearis*)

野生のルイボス



Photo by Ikegami

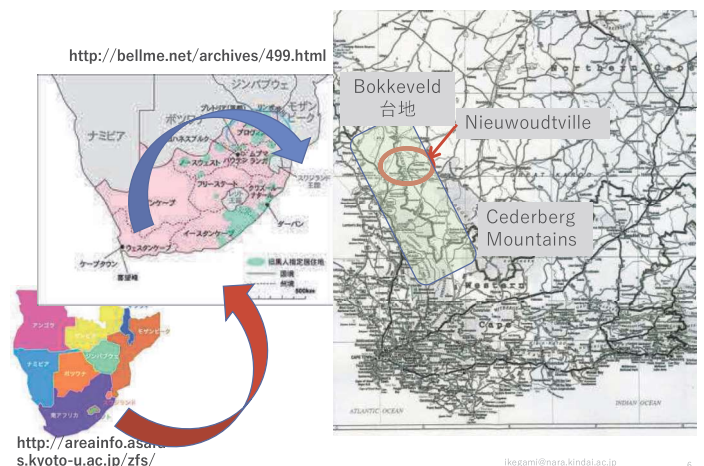


ルイボス農園
(白人農場)

ikegami@nara.kindai.ac.jp

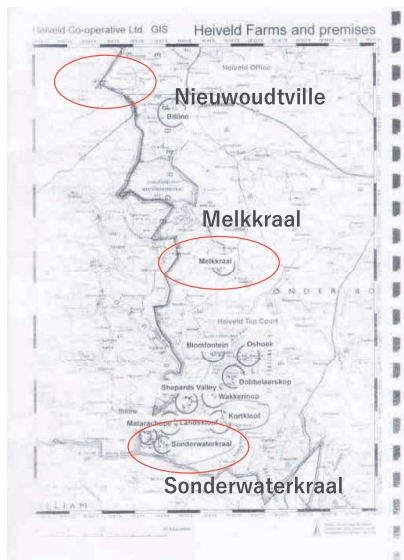
5

ルイボスの生育地域



ikegami@nara.kindai.ac.jp

6



ルイボス茶はコイサン
の人たちの薬として利
用されてきた＝伝統知



ルイボスの 生育環境

7

ikegami@nara.kindai.ac.jp

8

ルイボスの生育条件

ルイボス： *Aspalathus linearis*

生育条件：酸性土壌、乾燥気候、強い日差し

西ケープ州Cederberg地方

北ケープ州のBokkeveld台地

南Bokkeveld地方

降水量：5月～7月の2, 3週間で30mm～45mm

平均気温：6月～8月に11度、12月～2月に23度

降霜から40度近い炎暑の気温差

きわめて乾燥しており、農産物はほぼ栽培できない

ルイボスが家畜の放し飼い（大牧場）

ikegami@nara.kindai.ac.jp

9



ikegami@nara.kindai.ac.jp

10



ikegami@nara.kindai.ac.jp

Heiveld Coopの製品ラインナップ



独自デザイン
のパック
もしくはバル
ク売り

3つの等級＋
野生ルイボス

ikegami@nara.kindai.ac.jp

12

ルイボス茶のセールス・ポイント

☆ルイボス紅茶の商品特性：健康に良い
カフェインの含有量がゼロ、抗酸化作用

☆ルイボス紅茶の品質管理：
有機基準＋公正さ → Naturland Fair
生産・加工工程の品質保証 → 内部監査
手作業による雇用創出と生態系維持

ikegami@nara.kindai.ac.jp 13

ミッション

☆ルイボス生産に関わる、とくに人種、ジェンダーという点で不利な状況にある人びとの組織化

☆持続的な経済活動によるコミュニティの社会経済的発展の促進

- ・ルイボス茶の販売
- ・生産その他のコスト削減
- ・クレジット機能の提供
- ・組合員の能力開発

ikegami@nara.kindai.ac.jp 15

フェアトレードによる多様なインパクト：小農の自立

ikegami@nara.kindai.ac.jp

17

Heiveld Coopの小史

2000：Wupperthal協同組合へのフィールドトリップ後、14人の発起人でHeiveld Coopを設立(出資金1400ランド) 認可2002年7月

2001：有機農業の認証取得

(Naturland Standards, EU Ecocert, US NOP)

2003：FLO認証取得（世界最初のルイボス認証）

2008：BBC世界チャレンジ賞最終候補選定（2012年継続中）：「持続可能な農業」実践

2010：Naturland Fair (Naturland)認証取得

ikegami@nara.kindai.ac.jp 14

基本的役割：加工の特徴

ルイボス茶加工マスターによる搬入時点での点検

ルイボスの枝の切断のみ機械化＝手作業重視

高温下での自然発酵と乾燥

木製レーキによる手作業の攪拌

滅菌処理はRed Tea会社に委託

パッキングは女性メンバーかFTパッキング会社（Wupperthal Coopとの共同出資）

ikegami@nara.kindai.ac.jp 16

HVの経営状況

単位：ランド

	2008	2009	2010
販売収入	2,466,820	1,288,083	2,322,558
販売費用	1,346,800	1,108,245	1,552,454
粗利益	1,120,020	179,838	770,104
その他収入	207,771	48,888	38,885
営業利益	772,015	220,379	90,762
税引き前利益	762,569	185,971	94,271
税引き後利益	755,354	161,001	92,625

Heiveld Coperasie Beperk, Finansiëlejaarstate
1ランド=7円くらい、現在は6.36円

ikegami@nara.kindai.ac.jp 18

HVの収入内訳

単位：ランド

	2008	2009	2010
紅茶販売額	2,306,398	1,191,360	2,200,274
紅茶加工料	118,481	96,723	122,284
種子・苗木	11,686	-	-
その他資材	30,255	-	-

Heiveld Coperasie Beperk, Finansiëlejaarstate

ikegami@nara.kindai.ac.jp 19

販売量とコスト

農家番号	ルイボス面積	生産量 kg	反収 Kg/ha	販売額 ランド	現金費用 ランド	収益 ランド
1	3	250	83	4375	4375	3635
2	0.5	250	500	4375	4375	3775
3	4	405	101	7087.5	7087.5	5977
4	1	135	135	2362.5	2362.5	1792.5
5	1.5	540	360	9450	9450	7920
6	1	4500	4500	78000	78000	68850
7	60	5400	16	80000	80000	55180
8	30	6500	24	113750	113750	82700

聞き取り調査

ikegami@nara.kindai.ac.jp 20

家計の状況

農家番号	ルイボス販売	家畜販売	雇用労賃	老齢年金・子ども手当	合計	年間支出
1	5,000	-	3,200	7,200	15,400	24,000
2	5,000	-	-	14,400	19,400	12,760
3	7,000	-	-	-	7,000	17,400
4	2,363	-	-	14,400	16,763	10,200
5	9,540	-	-	3,360	12,900	14,904
6	78,000	-	-	14,400	92,400	28,620
7	80,000	15,000	-	-	95,000	25,720
8	113,750	16,250	6,000	-	136,000	29,700

ikegami@nara.kindai.ac.jp 21

HVへの関与と加入理由

農家	加入年	活動 1	活動 2	加入理由
1	2009	HV理事会事務局	HV代表として会議出席	以前からルイボス生産、 マーケットと高価格 、以前は白人農場に販売。
2	2002	総会参加	WS(気候変動)参加	2002年の会議に参加し、種子、市場アクセス、高価格を知る。最初は1袋しか取れなかったのをやめようと思ったがメンバーに説得された。
3	2004	ルイボス種子生産	野生種子で栽培試験	ルイボスに対する 高価格 の支払い。当初すでにメンバーが20人いたので新規加入しにくかった。
4	2008	総会参加	—	ルイボス茶の 販売ルート として。それまでは販売していなかった。
5	2011	加工場記録係	AFIT FLOとの活動に参加	自分の紅茶の 販売先及び高価格 の実現。HV内での 雇用機会 。
6	2008	総会参加	—	HVから手に入るすべての利益を求めて。 女性もメンバーになれる 。自分だけのお金ができる。
7	設立時	初代組合長(5年間)	加工場マネージャー	白人農場がルイボスを安値で買いたっていたので、組合をつくって 自分たちで売る ことにした。
8	2001	理事(2007~)	—	ずっとオーガニックで生産していた。 ローカルコミュニティのために ちょっとした雇用機会の提供。

ikegami@nara.kindai.ac.jp 22

F T の理解と H V の評価

農家番号	用語理解	FLOマーク	FTについての説明
1	よく理解	分かる	多くのこと、高価格、FLOプレミアムによる揚水ポンプ、茶加工場
2	少し理解	分かる	あまりわからない、しかしFTプレミアムで揚水ポンプを入れたことは知っている
3	よく理解	分かる	私には多くのことを意味している、FTを望んでいた 経済的向上をもたらした
4	少し理解	分からない	読み書きができないのでよくわからない
5	分からない	分かる	私たちの生活にたくさんの良い変化をもたらした
6	分からない	少し	箱と袋をつくって、その代価のプレミアム資金を受け取っている
7	よく理解	分かる	認証を通じてFTに入る 理由は認証によって高価格、良い市場アクセスなどすべての利益が入るから、
8	よく理解	分かる	我々の市場に対する適切な最低価格の実現 それは紅茶が高価格で売れるということ、FLOプレミアムの受け取り、それをコミュニティの社会目的のために使用、組合の助けにもなる

ikegami@nara.kindai.ac.jp 23

H V の効果と課題

農家番号	HVの効果	今後の課題
1	多くを学んだ。いろんなところを訪問。理事になった。財務点検のおかげで HVの運営を理解 。	市場アクセス
2	とても喜んでいる。	綿袋をHVにスクールバスで運ぶが10ランド必要
3	WS参加者から たくさんの知識 を手に入れている。	なし
4	たくさんの 恩恵 を受けている。	HVのメンバーであることに感謝。HVに不満を言うなんて人間じゃない
5	良い結果を目撃している。メンバーおよび事務所スタッフとの意思疎通がうまくいく。	問題なし
6	とてもグッド。毎日少しずつ 学ぶことができる 。	問題なし
7	ライフスタイル向上。いまや無給で 仲間のメンバーを手助けする地位 になった。	悪いことはなにもない
8	理事として、コミュニティに貢献。財務チームの会合で 組合運営の健全性 について理解。 気候変動WSを運営し、未来のために計画立案 。	問題なし

ikegami@nara.kindai.ac.jp 24

メンバー調査の小括

- HVへの高い満足度、FTについての理解
- 家計費をまかなうことがおおよそ可能
白人農場など雇用労働の追加が不要
- 高齢女性の活躍
- 小家族と高齢化、若者の参加が少ない
- ルイボス生産は低投入＝サステナブル 労働の総量少ない
- HV「城下町」のきらいがなきにしも？

ikegami@nara.kindai.ac.jp 25

HVのFTによる直接的効果

- ★生活水準の向上、安定
厳しい生活・生産条件下での暮らしが前提
↓
メンバーの高い満足度 当初の目的は達成
個人メンバーの増加や女性メンバーの活躍
- ★就業機会の創出と貧困削減： 限定的
ルイボス茶加工場：季節雇用
限定的だが、白人農場での雇用は回避

26

間接的效果

- ★アパルトヘイト政策の「遺産」を清算
 - 依存傾向の縮小と自立化志向
 - コミューナルランドの統合性強化＝社会的実在に
- ★ローカル知識の戦略的活用
ケープタウン大学,UNEP,NGOとでプロトコル化
野生ルイボス茶の正統性
ルイボス茶評議会(Rooibos Tea Council)
への対抗手段としての有効性
- ★**FT製品としては100%出荷できない状態**
→既存市場の開拓：スーパー（Pick'nPay）

27

ikegami@nara.kindai.ac.jp

28

Heiveld Coopの例から学べること

自立化志向の胎動：ガバナンス

- ★NGO依存からの脱却が必要との言説
経済的側面 生存段階から生産活動の段階へ
組織運営の側面
コミュニティの強化
(FLO社会プレミアムの配分、利用)
- 自らガバナンスできる水準に達したとの自負、自信
国際NGO主導からパートナーへ

ikegami@nara.kindai.ac.jp

29

自立化志向の直面する課題と対応

- ★FTルイボス農場との競合
南アのFT認証取得済みは白人農園が多数派
小農の生産組合は2つのみ
同じFTだから「競争から連帯」へとはいかない
- FT白人農場によるFTルイボス市場の飽和
市場志向型FTの限界を露呈しかねない
一般有機市場への進出：価格低下と販売費の増加
- 生産量拡大には限界←生育条件
⇒農地の購入による拡大に成功

ikegami@nara.kindai.ac.jp

30

フェアトレードからの「卒業」

★フェアトレードに対する批判

FT団体への依存の強化

FT団体が関与（支援）できる生産者数の限界

フェアトレードの恩恵者と非恩恵者の差

新規に手を広げるためにはフェアトレードからの卒業が必要ではないか

卒業要件としての自立性

ikegami@nara.kindai.ac.jp

31

結論：フェアトレードの展望

ikegami@nara.kindai.ac.jp

32

フェアトレードの構成要素

1. 経済的に不利な立場の人たちに機会を提供
2. 透明性と説明責任 集団の運営
3. Capacity building
4. 公正価格の支払い 最低価格
5. 事前支払いと長期契約
6. 社会開発のためのプレミアム支払い
7. ジェンダー平等
8. 良い労働条件の確保
9. 児童労働の排除
10. 環境保全

フェアトレードの目的

(1) 生産者:

南側諸国の限界的な人びとを支援

←「公正」な価格の提供

「なりたい私になれる」こと

誰でもが人間として生きられること

(2) 消費者:

北側諸国で自覚的な消費者を増やす

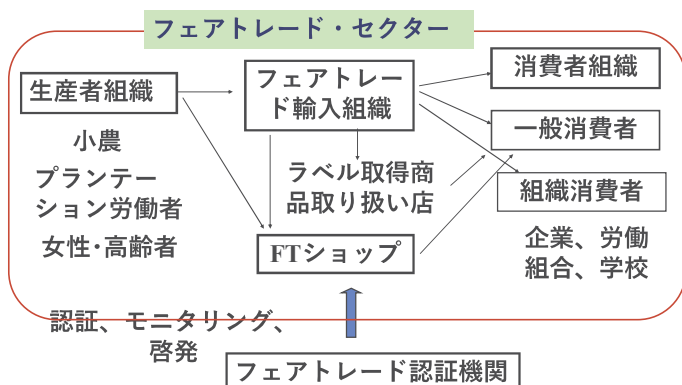
安さの裏に何が？

結びつける

→ もうひとつの経済システム
市場の失敗を埋める
分断された世界を結びなおす

「徳の経済」'Virtue of Economyが当たり前の世界

認証型フェアトレードの関係者



主な認証対象原材料・製品

その他、砂糖、大豆、はちみつ、ナッツ類、ゴマなど原材料ベースで300種類以上



コーヒー



カカオ



コットン



茶葉



香辛料



バラ



バナナ

中島佳織作成



スポーツボール

35

フェアトレードの課題

「真正性」をめぐる議論

多国籍企業の参入→独自の認証システムも

類似の認証ラベル 条件のゆるさ

南南フェアトレード

フェアトレードの国内化

社会的意義と経済的意義の統合

市場の小ささ：生産者の希望を満たせない

認証型フェアトレードのジレンマ：最貧層の対象化

市場の拡大：インパクト研究と情報の伝え方

消費者サイド・アプローチが必要



若者層にフェアトレードは広がるか 世代論の必要性

• ジェネレーションY (GY)→**ジェネレーションZ (GZ)**

GY:1981年-1998年生 GZ:1999年以降生 (Febriamansyah, R., 2018)

- GZの特徴：IT（ウェブ、アプリ）、PCよりスマホ、SNS
どっぷり、言葉より略語、スタンプ、インスタ
- フェアトレードは「クール」それとも「意識高い系」
- 「正論を言ってるだけじゃん」 言説が嘲笑の対象に
- 「空気を読む」同調圧力（無意識、意識的）
- FTの認知率は若者世代で「圧倒的に」高い

**コミュニケーション方法が重要
情報の内容と伝え方、メディア選択**

まとめ 1

可能性としてのFT：小農と農村の自立

自己組織化・能力開発

機会費用<社会プレミアム

HVのケース：

ルイボス茶という商品特性、北の健康志向

自然・歴史・文化条件の合致

コイサンの伝統知の活用

まとめ 2

★情報の伝え方と認証の意義の後退

ギャップ { 消費者の求める情報
心地よい 後ろめたくない 見せびらかし
生産者の伝えたい情報
暮らしの実情 栽培・生産の仕方 苦境

どのように埋めるか

認証ラベルでは限界、認証システムの多様化
脱プラスチックで情報量減少

上下流を結ぶ双方向のICTに可能性はないか

まとめ 3

生産者と消費者のパートナーシップ

現状は作る人→買う人の関係

想像力やスタディツアーでは限界

共同出資で利害の共通化

最初の出資金の調達課題

Devine Choco, Cafe/Tea Direct, Progreso

市場志向型FT/貧困開発型国際協力/直接支援・連
帯経済を超えるシステムに育つ可能性

政府・民間・協同組合・産消共同システム



Source: London Town.com

「徳の経済」の実質化

フェアトレードを学ぶための本

- 長坂寿久編著『フェアトレードビジネスモデルの新たな展開 SDGs時代に向けて』明石書店、2018年
- 渡辺龍也『フェアトレードタウン』新評論、2018年
- フランツ・ヴァンデルホルフ『貧しい人々のマニフェスト フェアトレードの思想』創成社、2016年
- アレックス・ニコルズ、シャーロット・オパール『フェアトレード 倫理的な消費が経済を変える』岩波書店、2009年
- FLO, IFAT, NEWS!, EFTA『これでわかるフェアトレード ハンドブック 世界を幸せにするしくみ』合同出版、2008年

参考文献

- Archer, E.R.M., et al, 2008, 'Farming on the edge' in arid western South Africa: climate change and agriculture in marginal environments, *Geography*, 93-2
- Fairtrade Foundation, 2010, *Impacts of Fairtrade in South Africa, Impact Briefing Paper* (www.fairtrade.org.uk)
- IKEGAMI, K., 2008, The Meaning of the Fair Trade in the Context of the Republic of South Africa, IRSA online-paper (<http://www.irsa-world.org/XII/papers/3-8.pdf>)
- Kruger. S., 2009, *Rooibos Socio-Economic Study*, Ministry of Agriculture, Nature and Food Quality
- Malgas R. & Oettle N., 2007, *Sustainable Harvesting of Wild Rooibos*, EMG
- Williamas, M., 2012, Draft, *Alternative Production and Consumption Relations?: Fair Trade, the State, and Cooperatives in the Global South*

参考文献 2

- Hall, R., 2005, *Land and agrarian reform in South Africa: A status report 2004*, PLAAS
- PLAAS, UMHLABA Wethu13, 2011.6
- Walker, C., 2008, *Land Marked, Land Claims & Land Restituion in South Africa*, Ohio University Press